

(報道資料)

## 高頻度で撮影が可能な国産小型衛星データの取り扱いを開始 ～ 国内外へ展開し、日本の宇宙産業の活性化に貢献 ～

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）はこのたび、国内宇宙産業の一翼を担う国産小型衛星事業者と販売店契約を締結し、国内外に向けて、高頻度で撮影が可能な合成開口レーダー（SAR）衛星「QPS-SAR」「StriX」、光学衛星「GRUS」データの提供サービスを開始します。

パスコは2007年に衛星事業を本格化し、衛星データの販売から分析・解析、サービスの開発・提供を行っています。稼働10年を超えた「ASNARO-1」衛星の運用ならびに陸域観測技術衛星2号「だいち2号」（ALOS-2）および先進レーダー衛星「だいち4号」（ALOS-4）のデータ・サービス事業者として、日本の地球観測衛星データの利活用に向けた取り組みに参画しています。

パスコは広い観測幅や高分解能の大型衛星に加え、高頻度で撮影できる国産小型衛星を取り扱うことで、今後もお客様のニーズに応じたデータ・サービスを提供していきます。

そして、国産小型衛星データ利活用の普及・促進に向けた事業展開を推進するとともに、観測・解析・サービスの提供などを通じて、日本の宇宙産業の活性化に一層の貢献をおこなっていきます。

### ■ 提供を開始する国産小型衛星

<合成開口レーダー（SAR）衛星>

#### QPS-SAR(キューピーエス-サー)

QPS-SARは、現在12号機まで打ち上げられており、傾斜回帰軌道への重点的な投入によって世界中の大都市圏の観測を重視した衛星コンステレーションを構築。展開式の大型パラボラアンテナ（特許取得）により高解像度の観測を可能にしており、災害監視やインフラ管理など多様な分野での活用が可能です

衛星運用会社：株式会社 QPS 研究所

<https://i-qps.net/>

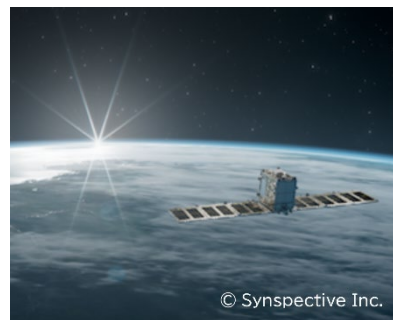


#### StriX(ストリクス)

StriXは、25cmの高解像度モードから最大10,000km<sup>2</sup>を一度に撮像できる3m分解能での画像取得が可能です。災害対応やインフラ管理など、多岐に渡る分野で活用されています。また、傾斜回帰軌道と太陽同期回帰軌道の組み合わせにより、不可視領域を避けた撮像の組み合わせも可能にしています。

衛星運用会社：株式会社 Synspective

<https://synspective.com/jp/>

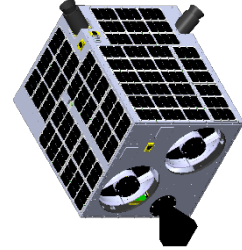


<光学衛星>

**GRUS(グルース)**

GRUSは、パンクロ（白黒）2.5m、マルチスペクトル 5m の分解能を持つ、光学系の衛星コンステレーションシステムです。

小型でありながら、最新の光学系・センサーを用いた望遠鏡を搭載することで、幅 55km 以上の広範囲の領域を撮影でき、効率的に地球全体の画像を取得できます。



© Axelspace

衛星運用会社：株式会社アクセルスペース

<https://www.axelspace.com/ja/>

■ パスコの衛星事業

パスコは、国内外の人工衛星の運用・データ流通・加工／解析・ソリューション開発・提供などを行い、社会の課題解決に努めています。また、独自に衛星と通信を行うための施設である衛星地上局を保有しており、これまでに国産ロケット打ち上げ時の追尾、テレメトリデータの受信・伝送の実績も保有するなど、日本の宇宙産業に貢献しています。

パスコは、空間情報技術と衛星の活用ノウハウを融合させ、経営ビジョン「地球をはかり、未来を創る～人と自然の共生にむけて～」のもと、社会課題の解決に努めていきます。

パスコの衛星ビジネス：<https://www.pasco.co.jp/pickup/satellite/>

光学衛星データ販売：<https://www.pasco.co.jp/biz/tech/optical-satellite/>

SAR 衛星データ販売：<https://www.pasco.co.jp/biz/tech/sar-satellite/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

(報道機関) 広報部

(お客様) 衛星事業部

<https://www.pasco.co.jp/>

[press@pasco.co.jp](mailto:press@pasco.co.jp)

[satellite\\_info@pasco.co.jp](mailto:satellite_info@pasco.co.jp)

報道資料の内容は発表時のものです